

平成12年 WHEEL HOUSE, CONTROL ROOM

1. 「日本丸」 「船の科学」2000-4 (Vol.53, No.4) より採取。

- ・旅客帆船「日本丸」、総トン数 383トン、旅客 (1.5Hr 未満) 700名、乗組員 5名、航海速力 13.0ノット、航路 明石海峡周辺クルーズおよび鳴門海峡 (渦潮観光)、大阪周辺淡路島一周クルーズ観光遊覧
操縦性に配慮、バウスラスト、バックツインラダー採用、本船は帆走はしない。
- ・船主 : 船舶施設整備公事業団、ジョイポート南淡路 (株)
- ・建造 : 内海造船 (株) 瀬戸田工場 平成12年2月9日 竣工
- ・1) は本船全景、2) は操舵室、操縦スタンド。

1) W75-01 日本丸 本船全景



2) W75-02 日本丸 操舵室



2. 「TEAM JUPITER」 「船の科学」2000-4 (Vol.53, No.4) より採取。

- ・プロダクト/ケミカル キャリア 「TEAM JUPITER」、DWT 48,338トン 航海速力 約14.25ノット
積載貨物は石油精製品 (ガソリン、ナフサ、軽油等)、糖蜜、植物油、化学薬品 (苛性ソーダ、二塩化エチレン、ベンゼン、メタノール、アセトンなど)。離着岸を容易にするため、バウスラストを装備、軸発 (520kW) を装備、航海中の電力は賄う。排ガス・エコノマイザを装備。

3) W75-03 TEAM JUPITER 本船全景



4) W75-04 TEAM JUPITER 中央制御室



5) W75-05 TEAM JUPITER 操舵室



6) W75-06 TEAM JUPITER 機関制御室



- ・船主 : Team Tankers Shipping AS (NIS)
- ・建造 : (株) サノヤス・ヒシノ明昌 水島製作所 平成12年2月14日 竣工
- ・3) は本船全景、4) は中央制御室(操舵室内)、5) は操舵室、6) は機関制御室、LCD が2台装備されている。

3. 「とくしま」 「船の科学」2000-7 (Vol.53, No.7) より採取。

- ・漁業調査及び環境調査船「とくしま」、海洋観測、資源共同調査などを行う。

総トン数 80トン、速力(試運転最大 13.32ノット) 操縦性向上のため、シリングラダー、バウスラスタ、ジョイスティック・コントロール・システムを採用、電子海図情報表示装置(ECDIS) 装備、海洋データ処理システム、CTD 観測装置、多層式流向流速計、計量漁業探知機、サイドスキャンソナー、水中テレビロボット、スキャンニングソナーなど装備。

- ・船主 : 徳島県水産試験所
- ・建造 : (株) 讃岐造船鉄工所 平成12年2月9日 竣工
- ・7) は本船全景、8) は操舵室、9) は調査室。

7) W75-07 とくしま 本船全景



8) W75-08 とくしま 操舵室



9) W75-09 とくしま 調査室



4. 「GÓNEN」(ギョネ) 「船の科学」2000-8 (Vol.53, No.6) より採取。

- ・46,500 DWT 型「GÓNEN」、DWT 47,102 トン、速力(計画満載) 15.3 ノット 荷役作業の効率化を図るため、貨物油制御室に遠隔荷役監視・制御盤を設置している。
- ・船主 : Ganclear Shipping S.A.(Liberia) ・建造 : 尾道造船(株) 平成12年6月9日 竣工
- ・10) は本船全景、11) は操舵室。

10) W75-10 GÓNEN 本船全景



11) W75-11 GÓNEN 操舵室



5. 「マリンライナー とかしき」 「船の科学」 2000-9 (Vol.53, No.9) より採取。

- ・水中翼付き双胴高速船 120 頓型「マリンライナー とかしき」、航路は沖縄県泊港～渡嘉敷村、総トン数 123 トン、航海速力 34.0 ノット、旅客 200 名、高速ディーゼル機関×2
- ・船主 : 渡嘉敷村、沖縄県離島海運振興 (株) ・建造 : (株) 三保造船所 平成12年7月1日 竣工
- ・12) は本船全景、13) は操舵室。

12) W75-12 とかしき 本船全景



13) W75-13 とかしき 操舵室



6. 「EUROPEAN CAUSEWAY」 「船の科学」 2000-11 (Vol.53, No.11) より採取。

- ・新造旅客フェリー「EUROPEAN CAUSEWAY」, 航路はスコットランド～北アイルランド、総トン数 20,646 トン、船尾部が2つに分かれたスプリット船型を採用、航海速力 22.7 ノット、車輛搭載数 13.5m トラック 107 台、旅客定員 410 名、操縦性を考慮して、2軸 CPP, 45 度転舵可能なフラップ舵を2枚、バウスラスタを2組装備している。フィンスタビライザーも装備。4機2軸2舵で、軸発 (1800 kW) 2基、ディーゼル発電機 (1800 kW) 2基を装備している。
- ・船主 : P&O European Ferries (Irish Sea) Ltd.
- ・建造 : 三菱重工業 (株) 下関造船所 平成12年7月14日 竣工
- ・14) は本船全景、15) は操舵室、16) は機関制御室。

14) W75-14 EUROPEAN CAUSEWAY 本船全景



15) W75-15 EUROPEAN CAUSEWAY 操舵室



16) W75-16 EUROPEAN CAUSEWAY 機関制御室



7. 「AGIOS ANDREA」 「船の科学」 2000-11 (Vol.53, No.11) より採取。

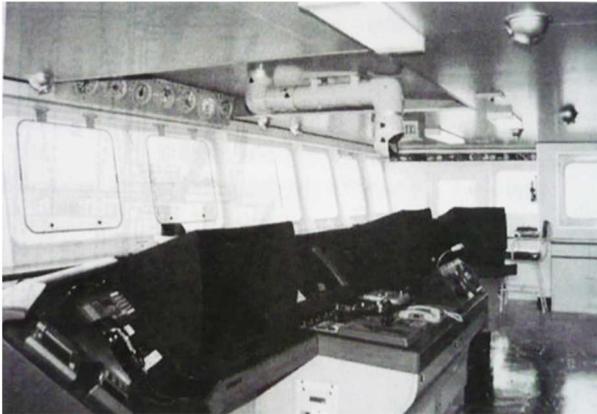
- ・大型ハンディマックス バルカー「AGIOS ANDREAS」, DWT 52,068 トン、海速力 (常用) 約 14.8 ノット 低速ロングストローク主機関採用、操舵室のコンソールは 航海計器、国際 VHF 無線電話を組み込んだ IBS スタイルとなっている。

- ・船主 : Voreios Shipping Company Ltd. (Marshall Islands)
- ・建造 : (株) サノヤス・ヒシノ明昌 水島製作所
平成12年7月19日 竣工
- ・17) は本船全景、18) は操舵室、19) は機関制御室。

17) W75-17 AGIOS ANDREAS 本船全景



18) W75-18 AGIOS ANDREAS 操舵室



19) W75-19 AGIOS ANDREAS 機関制御室



8. 「SUN SHINE SEA」 「船の科学」2000-12 (Vol.53, No.12) より採取。

- ・DWT 16,000 MT 型ケミカルタンカー「SUN SHINE SEA」、DWT 16,120 トン、航海速度 14.20 ノット
- ・カーゴタンクの独立荷役が可能なるよう、全てのカーゴタンクに電動油圧駆動のサブマージド型カーゴポンプを装備している。
- ・船主 : Sun Navigation S.A. (Panama)
- ・建造 : (株) 白杵造船所 平成12年6月29日 竣工
- ・20) は本船全景、21) は操舵室、22) は荷役監視室。

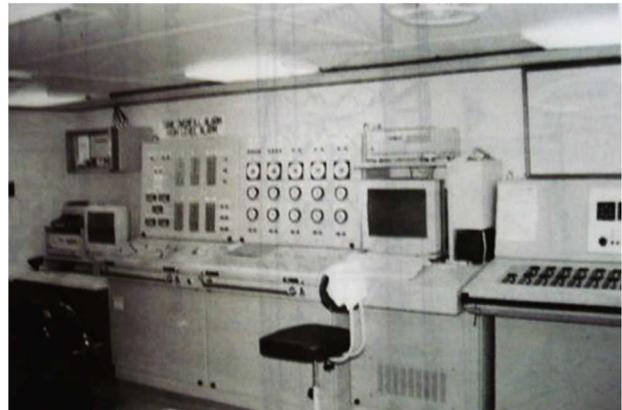
20) W75-20 SUN SHINE SEA 本船全景



21) W75-21 SUN SHINE SEA 操舵室



22) W75-22 SUN SHINE SEA 荷役監視室



9. 「啓風丸」(2世) 「船の科学」2001-1 (Vol.54, No.1) より採取。

- ・気象庁向け海洋気象観測船「啓風丸」、総トン数 1,483 トン、航海速度 14 ノット、乗員最大 50 名、船員 31 名、北西太平洋と赤道域で海洋気象観測を行う。操船性向上のため CPP、バウスラスタ (CPP 付き)、ベクツイン舵

を採用。航海装置としては電子チャート情報表示装置を装備、レーダ映像との合成、ARPAデータの表示が可能となっている。

観測装置としては、CTD観測装置（塩分の電気伝導度、水温、水深）、曳航式CTDシステム、航走用二酸化炭素観測装置、表層塩分連続観測装置、表層海流計など多数。

- ・船主：気象庁
- ・建造：三井造船（株）千葉造船工場
平成12年9月27日 竣工
- ・23) は本船全景、24) は操舵室、25) は遠隔操縦室。

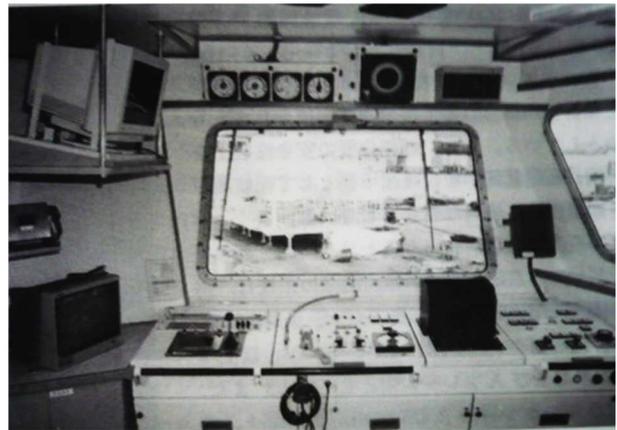
23) W75-23 啓風丸 本船全景



24) W75-24 啓風丸 操舵室



25) W75-25 啓風丸 遠隔操縦室



10. 「3号はやぶさ」 「船の科学」2001-1 (Vol.54, No.1) より採取。

- ・2基2軸CPP装備・船尾双胴型 旅客船兼自動車航走船「3号はやぶさ」、函館～青森間に就航。DWT 1,204 トン、航海速力 18.7 ノット、車輛搭載数 12.0mトラック 24台、9.0mトラック 2台、旅客定員（乗組員含む）71名。フィンスタビライザー、バウスラスタを装備している。

操舵室からは 主機関、フィンスタビライザー、バウスラスタの遠隔制御が可能。

- ・船主：共栄運輸（株） ・建造：函館どつく（株）函館造船所 平成12年9月22日 竣工
- ・26) は本船全景、27) は操舵室。

26) W75-26 3号はやぶさ 本船全景



27) W75-27 3号はやぶさ 操舵室



11. 「海翔丸」 「船の科学」2001-2 (Vol.54, No.2) より採取。

- ・大型ドラッグサクシオン浚渫油回収船「海翔丸」、泥倉容量 2,000m³/回収水槽容量 1,500m³、総トン数 4,663 トン、DWT 3,768 トン、航海速力 12.6 ノット。

操舵室、機関監視室、無線事務室は最上層に設けられている。電気推進機（1,500kW×2）回転数はインバータ制御、プロペラ4翼2軸、全旋回型ノズル付き電動推進システムを採用、バウスラスタ採用。

操舵室の総合システム盤には、制御用コンピュータ 1台、主機故障診断用、浚渫・油回収・補機故障診断支援用、浚渫油回収データログ用、機関部データログ用、浚渫ファジー制御用、データ収録用、測深・航跡・施工管理用の7台のパソコンが組み込まれている。

- ・船主 : 国土交通省九州地方整備局
- ・建造 : 石川島播磨重工業(株) 東京第一工場 平成12年8月31日 竣工
- ・28) は本船全景、29) は自動制御総合システム盤。

28) W75-28 海翔丸 本船全景



28) W75-28 海翔丸 自動制御総合システム盤



12. 「まいしま」 「船の科学」2001-3 (Vol.54, No.3) より採取。

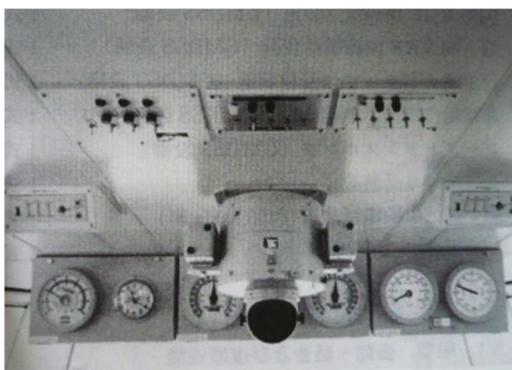
- ・大阪消防局向け 4,000 馬力多機能型消防艇「まいしま」、総トン数 158 トン、航海速力 18 ノット、乗組員 15 名、その他 35 名 計 50 名。

船橋に 操舵室兼作戦指揮室を設け、操船システム、主機関制御監視システム、消防機器制御監視システム及び 総合情報管理システムを装備している。バウスラスタ 電動4翼 CPP、スターンスラスタ 油圧3翼 FPP、総合航海装置 (IBS, 電子チャート)、自動船位保持システム (DPS)、搜索 CCD 探査装置カメラ、三次元表示水没物探査装置、船内 LAN など装備している。

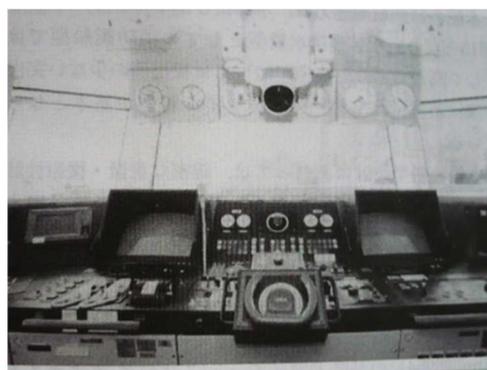
30) W75-30 まいしま 本船全景



31) W75-31 まいしま 操舵室前面天井部



32) W75-32 まいしま 船橋 IBS 航海コンソール



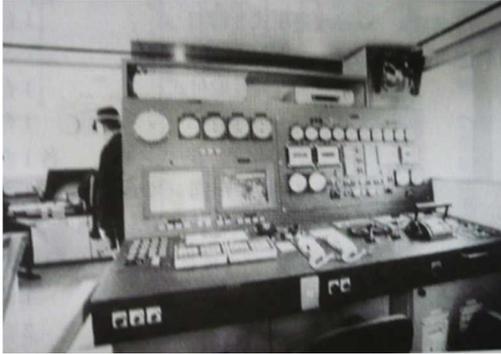
33) W75-33 まいしま 指揮作戦室区画



34) W75-34 まいしま 消防/船内 LAN コンソール



35) W75-35 まいしま 機関制御コンソール



36) W75-36 まいしま 熱画像解析装置
及び水没物探査装置



- ・船主 : 大阪市消防局 設計コンサルタント (財) 日本造船技術センター
- ・建造 : 金川造船 (株) 平成12年3月30日 竣工
- ・30) は本船全景、31) は操舵室前面天井部 (オーバーヘッドコンソール)、32) は船橋 IBS 航海コンソール、33) は指揮作戦室区画、34) は消防コンソール及び船内 LAN コンソール、35) は機関制御コンソール、36) は熱画像解析装置及び水没物探査装置。

12. 「EUROPEAN AMBASSADOR」 「船の科学」2001-4 (Vol.54, No.4) より採取

- ・新造旅客フェリー「EUROPEAN AMBASSADOR」、航路はアイルランド～イングランド、船尾が2つに分かれたスプリット船型を採用。総トン数 (国際) 24,206 トン、航海速力 25.7 ノット、旅客定員 405 名、車両搭載数 13.5mトラック 123 台。

操船性向上のため、2軸 CPP プロペラ、転舵可能なフラップ舵2枚、バウスラスタ2組を備えている。フィンスタビライザーも装備。主機関は高馬力のV型中速エンジン (11,880 kW 及び 7,920kW) を各2機ずつ搭載、軸発 1,900kW×2 装備、最新の航海装置 VMS (Voyage Management System) ,VER (Voyage Event Recorder) を装備している。

- ・船主 : P&O European Ferries (Irish Sea) Ltd. (Bahamas)
- ・建造 : 三菱重工業 (株) 下関造船所
平成12年12月12日 竣工
- ・37) は本船全景、38)、39) は操舵室、Bridge Console を示す。

37) W75-37 European Ambassador 本船全景



38) W75-38 European Ambassador 操舵室 (1)



39) W75-39 European Ambassador 操舵室 (2)



(メモ)

- 1) この年も操縦性を重視した船が建造されている。「日本丸」(帆船、旅客船)、「TEAM JUPITER」(プロダクト/ケミカルキャリア)、「とくしま」(漁業調査、環境調査船)、「EUROPEAN CAUSEWAY」(旅客フェリー)、「啓風丸」(海洋気象観測船)、「3号はやぶさ」(船尾双胴旅客船兼自動車航走船)など。
- 2) 漁業調査船、環境調査船「とくしま」や海洋気象観測船「啓風丸」では海洋気象機器の高度化が目立つ。
- 3) 30ノットを超える船も建造されている。「マリンライナー とかしき」(水中翼付双胴高速船、34.0ノット)
- 4) 軸発の装備も多い。「EUROPEAN CAUSEWAY」、「EUROPEAN AMBASSADOR」など。
- 5) コンピュータを使用した航海システムでは、電子海図を組み込んだIBSスタイルが増えている。「EUROPEAN CAUSEWAY」、「AGIOS ANDREAS」、「啓風丸」、「海翔丸」、「EUROPEAN AMBASSADOR」など。
- 6) 「まいしま」(大阪市消防局向け消防艇)では消防関連機器の高度化が窺える。